ケーブルコンベンション関連イベント 「ケーブル技術ショー2023」企画・運営業務の委託先募集日程について

一般社団法人日本CATV技術協会

日本におけるケーブルテレビ業界の一大イベント「ケーブルテレビショー」は 1984年に初回開催され、2012年からは「ケーブルコンベンション」と名称を変え、(一社)日本CATV技術協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、(一社)衛星放送協会の3団体が共催しています。ケーブルコンベンションの関連イベントである「ケーブル技術ショー」は、(一社)日本 CATV 技術協会が幹事を担当し、技術展示会や技術セミナーを開催しています。

今日、ケーブルテレビ事業は世帯普及率で約52.4%の規模に成長し、放送と通信の融合、有線と無線の連携により、多チャンネル放送、加入者電話、インターネットサービスのみならず、地域情報の提供、災害・防災情報の提供ほか、地域社会に密着した生活インフラとして安全・安心を担う重要な役割を担っています。

ケーブルテレビ事業を技術面で支える(一社)日本 CATV 技術協会では、ケーブルテレビの最先端技術やソリューション提供の場としてケーブルコンベンション関連イベント「ケーブル技術ショー2023」の開催を次のとおり予定しております。

#### <ケーブル技術ショー2023>

- ■技術展示会
  - ○開催日時 2023年7月18日 (火) ~21日 (金)

※設営・準備日:7月18日(火)~19日(水)

※催事開催日 : 7月20日(木) 9時半~18時

7月21日(金)9時半~17時

○会場 東京国際フォーラム 地下2階 ホールE

※技術セミナーの実施場所は、隣接するセミナールーム

- ■オンライン展示会
  - ○期間 技術展示会開催前後の一定期間

ケーブル技術ショー公式ホームページ

https://www.catv-f.com/

■主 催 (一社)日本CATV技術協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、

(一社) 衛星放送協会

「ケーブル技術ショー2023」の企画・運営業務委託先の募集を下記の日程で開始いたします。

#### 1. 募集の日程

- (1) 公募開始 2022年8月10日(水) (一社) 日本 CATV 技術協会ホームページにてお知らせ
- (2) 説明会 2022年9月1日(木) 13:30 から約2時間 web 開催 ※説明会参加者は、2) 項の窓口担当者へメールにて、参加連絡をお願いします。 開催の説明会 Zoom ID を提供いたします。
  - ※当日公開の業務委託仕様書、要領書に沿い説明を行います。
  - ※事前に登録いただいた応募者全社を対象に説明を行います。
- (3) 1次審査書類提出締切り 2022年9月15日(木) ※業務委託仕様書、要領書にて要求される資料(企画書など)
- (4) 1次審査(書類審査)結果連絡 2022年10月18日(火)※1次審査結果の内、上位数社に2次審査(プレゼンテーション)開催の連絡を行います。
- (5) 2 次審査(プレゼンテーション) 開催 2022年10月24日(月) web 開催 ※ 1 次審査上位数社によるプレゼンテーションを実施。
- (6) 委託業先内定 2022年10月25日(火)
- (7) 委託業先決定 2022年11月17日(木)
- (8) 出展者募集開始 2022年11月末
- ※ケーブル技術ショー企画委員会において、委託事業者の審査ならび、運営方針ほか を検討した、業務委託仕様書、要領書に沿い実施します。

企画委員会構成; (一社) 日本CATV技術協会、サテマガ・ビー・アイ(株)

#### 2. 担当窓口

一般社団法人日本CATV技術協会 事業部 (事業推進)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-28-8 (ラ・ベルティ新宿 7 F)

電 話 : 03-5273-4671

担 当 : 白柳 芳和 shirayanagi@catv.or.jp

※ 募集概要については別添の

「ケーブル技術ショー2023」企画・運営業務委託事業者の募集を参照願います。

以上

# 『ケーブル技術ショー2023』 企画・運営業務委託事業者の募集

2022年8月

一般社団法人 日本CATV技術協会

# 目次

- 1. ケーブル技術ショーの目的・ねらい
- 2. イベントの概要
- 3. 『ケーブル技術ショー2023』の委託項目
- 4. 提出書類
- 5. スケジュール
- 6. 検討課題

## 1. ケーブル技術ショーの目的・ねらい

- (1) 日本最大のケーブルテレビの展示会「ケーブル技術ショー」は、ケーブルコンベンションの関連イベントとして2012年以降、 技術協会が主幹事となって11年目となり、2023年7月20日(木)、21日(金)の両日、東京国際フォーラムで開催する。
- (2) 2022年5月時点におけるケーブルテレビをとりまく概況は以下のとおり。
- ①地域DXの担い手として地域創生に貢献する「ローカル5Gサービス」は、20のケーブル事業者(2022/3/末)、97のISPほか関連事業者が免許を取得(申請中を含む) し、地域課題(防災・減災、観光、水産林業、農業など)の解決に向けた事業が展開されている状況。
- ②有線によるネットワークの構築が困難な地域では地方自治体と連携した「地域BWAサービス」が、約93ケーブルテレビ局(2,707基地局) により提供され、災害時における地方公共団体等との協定については、連盟加入事業者206事業者が520自治体と協定を締結している (JCTA: 2020.3)。今後は5Gへの移行が期待されている。
- ③2015年12月に開始された「ケーブル4K」サービスを行っているケーブルテレビ事業者は76社・92局(2022/3)、全国のケーブルテレビ局が制作した4K番組を統一編成し、"地域発!ニッポンの魅力"ほかを美しい映像で放送を行っている。
- ④新4K8K衛星放送は、視聴可能な機器の出荷台数(2022.6末)は約1,320万台と世帯普及率は約22%、新4K8衛星放送を視聴したことのある人は回答者の約5.0%、そのうち満足していると回答した視聴者は93.7%の状況であり、今後の更なる普及には魅力のあるコンテンツが望まれる。(A-PAB: 2022.2調査)
- (3)新型コロナウィルス感染症の拡大により、社会環境が大きく変わり社会経済活動においても感染防止を行いつつ持続可能な社会が望まれるニューノーマル時代を迎え、展示会へのニーズ、あり方についても転換期にある。 このような状況を踏まえ、企画提案書においては業界を取り巻く状況、動向を鑑み、2023から2025年の短期のケーブル技術ショーのあり方(ポリシー)、目指す姿、達成に向けたプロセスなどについて、企画提案を盛り込むこと。

これらの状況を踏まえ、市場の環境変化、要求また、行政の施策に沿いCATV技術者集団の将来を担う、ケーブルテレビ業界の未来の実現に向け「ケーブル技術ショー2023」を開催する。

そのため、ケーブルコンベンション(主催:日本ケーブルテレビ連盟、日本 C A T V 技術協会、衛星放送協会)との同時期・同会場開催を深化させ、より連携を密にした企画を作成すること。

テーマ:

### 2. イベントの概要

### 『ケーブル技術ショー2023』

#### (1)技術展示会

- ▶ 日程:2023年7月20日(木)、21日(金)1日目:9時半~18時、2日目:9時半~17時※展示会場準備 7月18(火)、19日(水)
- → 会場:展示会〔東京国際フォーラム地下2階ホールE〕 技術セミナー〔同上 隣接セミナー室(1)(2)〕
- ▶ 規模:展示スペース 5,000㎡ 1小間6㎡(2×3m) 総小間数 約270小間

技術セミナー(1)(2) 約90席 2日間×2室 1日目:1時間×6枠×2室、2日目:1時間×5枠×2室 総枠数22枠(内、主催者枠 2枠)

#### (2)オンライン展示会

- ▶ 技術展示会開催前後、1~2か月間 終了後から2024/7開催直前(アーカイブ)
- ➤ ケーブル技術ショー公式ホームページ www.catv-f.com

# 3. 『ケーブル技術ショー2023』の委託項目

- (1) 本イベントを企画立案し、概算予算案を作成する業務
- (2)本イベントに係わる事務局業務 \*出展者募集、来場者集客、テーマ展示・主催者セミナー協力募集ほかを含む
- (3) 本イベントに係る制作物、Webサイト等を制作、運営する業務
- (4) 本イベント会場における造作物、装飾物、電気器具等を(一社) 日本CATV技術協会(以下協会という)の承認した形態、仕様にて設営し、イベント終了後これらを撤去処分する業務(テーマ展示コーナほかを含む)
- (5) 本イベントを協会の承認した内容にて実施運営する業務
- (6) 本イベント会場周辺において、本イベント来場者に対して会場 への誘導等を行う業務
- (7) その他、前各号に関連または付帯する業務

# 4. 『ケーブル技術ショー2023』の評価項目

- (1) リアル展示会とオンライン展示会の連携
- (2) <u>2023~2025に向けた技術ショーのあり方とあるべき姿、そのプロセス。</u>
- (3) 開催テーマの適切性
- (4) ポスター、ロゴタイプの適切性・新規性
- (5) 展示会場受付・入口の格調性
- (6) 展示会場(セミナー会場)のレイアウト、感染症対策
- (7) 出展社募集力(新規ケーブル関連分野の開拓含む)
- (8) 来場者集客力(Webを活用する集客力含む)
- (9) 入場管理(胸章の識別、QRコード等)、感染症対策
- (10) 実施運営体制(JCTEAとの連携含む)、スケジュール計画
- (11) テーマ展示コーナーの企画
- (12) 新規チャレンジの企画(市場動向・ニーズに連動、収支差益増加の方策)
- (13) 出展者・来場者間の商談・情報交流に関する企画
- (14) 効率的な収支計画(収支バランス)
- (15) ケーブルコンベンションとの協働
- (16) 業界関連プレス社、メディアとの連携(ケーブル記者会、ケーブルテレビ局等)
  - ※ 1・2・7・8・12・13・14項は、重点評価項目

### 5. 提出書類

### 9月15日(木)15:00締切りで下記の1次審査書類を2部提出する。

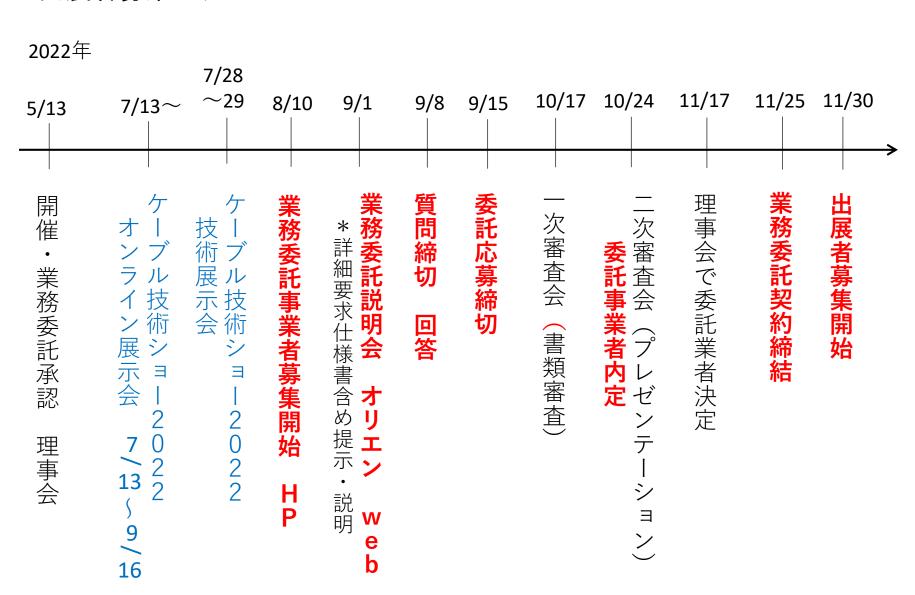
- (1)会社概要
- (2)直近の事業実績・決算書
- (3)過去の類似業務の実績、経験等記載書類
- (4)実施体制(全体統括者・業務担当責任者・安全対策及び苦情対応など)
- (5)参加資格の要件(仕様書記載)を満たす証明資料
- (6)本イベントの企画書(書類2部、電子データCD)
- (7)本イベントの収支計画書(当協会指定のフォーマットExcelを使用する)
- (8)その他

#### イベント終了後

- (1)技術展示会出展社、来場者情報提出:2023年7月25日(第1回反省会実施)
- (2)報告書の提出:
  - 2023年8月25日(技術展示会編)、9月22日(オンライン展示会含めた最終報告書)
- (3)業務の引継書(各種データ、ノウハウ含む):2023年9月30日
- (4) 収支報告(委託料の請求):2023年9月29日 \*支払いは翌月末
- (5)ケーブル技術ショー2024出展募集開始(2023/11/末)までの公式webサイトの運営・管理。

# ケーブル技術ショー 2023

#### 出展者募集スケジュール



### 7. 検討課題

- 1 2023~2025に向けた技術ショーのあり方とあるべき姿、そのプロセス
- ② ケーブル技術ショー出展者の募集施策 (他の展示会の当関連業界出展者等、地域DX関連、防災・減災関連、CPS/IoT関連)
- ③ 会員に対する優遇策
- ④ 入場受付作業、来場者登録・管理作業の効率化、感染症対策
- ⑤ オンライン展示会と技術展示会の役割と連携
- ⑥ 自治体、防災関係、ホテル、病院など情報インフラ(地域DX)の整備 が期待できる業界関係者の来場を目的とした、出展者募集施策
- ⑦ 広報・周知の手法と規模(効果の確認を含む)
- ⑧ テーマ展示の深掘り
- ⑨ 出展者の満足度向上策 \*来場者情報の収集とその活用手法の提案
- ⑩ 会場での展示案内サポート \*来場者、来賓、招待者
- ① 採算性の確保 \*収支差益の増加
- ② アンケート回収数増および集計作業効率化
- ③ 業界動向、市場ニーズの収集の手法

### 8. 継続イベント

- ▶ 技術展示会とオンライン展示会のハイブリット開催
- > 出展募集説明会、出展者説明会の開催
- ▶ 主催者技術テーマコーナーの開設
- ▶ 来場者マイページ、出展社マイページの設置
- ▶ プレス広告・記事の掲載
- ➤ EDM(出展者募集時:最低3回、来場登録開始:最低10回)
- > 来場登録開始時の案内状(過去来場者へのDM)の送付
- ➤ 入場管理はQRコードを使用(読取りと同時にリアルタイムで情報が閲覧可能)
- ➤ 終了EDM 出展者、来場者へのお礼
  - ・来場者アンケート(マイページ活用)・次年度の開催予定告知
- ▶ ケーブル技術ショー公式ホームページの運営
  - ・アーカイブの情報の作成・掲載(フォト、ムービーほか)

# 展示会場

### 東京国際フォーラム

(展示会) Eブロック Exhibition Hall (1)、(2)

- 展示ホール(約5,000㎡)の展示スペースを小間売り
- 基本小間(幅3m×奥行き2m×高さ2.7m)
  - ⇒ 約270小間

(技術セミナー) セミナー室1,2

• 2日間の1時間枠 合計20枠を提示(別途主催者セミナー2枠)

#### 参考資料2

# 展示ホール 地下2階平面図

